

保護者・地域の皆様

園長室だより NO.1

今日、羽化したアゲハチョウです



文京区立第一幼稚園

園長 田村 秀子

03 (3811) 0072

園庭の緑が濃くなり、アジサイの花も咲き始めました。暑い日には、水に触って遊ぶのが心地よい季節です。

園での生活に少しずつ慣れてきた子供たちは、自分から周囲の環境に関わり、遊び始めています。子供たちの発達や興味・関心に応じて先生が前日から設定した環境が、子供たちにとって魅力的で、いろいろなイメージが生まれたり、友達とつながるきっかけになったりしています。少しずつ地域に出かける活動も始まっていきます。そんな子供たちの遊びや生活の姿をお知らせします。

水を使って砂遊び、楽しいね

年中組が学級の皆で裸足になって砂遊びをしました。先生も友達もみんな裸足で嬉しそう。ひんやりした砂の上を歩く感覚を楽しんでいました。そして「そうだ、ここ掘ってみよう」とシャベルで思い思いに掘ったり砂をバケツに入れたりして遊び始めました。先生がたらいに水を入れて用意すると「お水入れたい！」とバケツに水を汲んで、掘った穴に入れ始めます。水はすぐ消えてしまうので、どんどん汲んで、どんどん笑顔に。最後は大きな池や川ができて、その中を歩いたり、友達の作ったところとつなげたりして、楽しそうでした。片付け方や身支度の仕方



これ、私が作ったの。ほくも作りたい！

各保育室には子供たちが自由に使える材料がたくさんあります。各学年の発達に応じて子供たちが使いやすい材料やイメージを広げて遊べそうな材料が、選びやすく使いやすい置き方で、たくさん用意してあります。

「あひるのミルクちゃん、作りたい」「警察の帽子、作ろう」「私のちょうちょ、ヒラヒラするよ」など子供たちの思いを受け止めて、先生も子供たちの発想やイメージを大事にしながら、作りやすい方法を提示したり、その子なりの取組を見守ったりしています。小さな手で一生懸命に描いたり作ったり、作ったもので遊んだりする姿が素敵です。



だんごむし、くすぐったいよ

土の庭の「虫ジャングル」の花壇や植え込みに、ダンゴムシがたくさんいます。コンビカーに乗って土の庭を探検していた年少組がダンゴムシを見つけて、目を輝かせていました。小さくて、そっと触ってみると動いたり、丸まったりしてびっくり！年中さんがつまんでいるのを見て、自分もそっとつまんでみたり、手にのせて「わー、くすぐったい」と初めての感触を楽しんでいました。たくさん集めて持って帰りたくなった子も。情報が簡単に得られる時代ですが、直接見て、触って、そのものの動きや命を感じる体験を大切にしたいと思います。ワクワクしたり、心が動いたりする時、脳の働きは活発になり記憶に残っていきます。子供たちのつぶやきに耳を傾け、共感していきたいと思います。



鉄棒で回れたよ！今、ちょっとできた！

屋上で遊ぶのが大好きな年長組の子供たち。紫組も緑組も混ざって鬼遊びをしたり、ボール遊びをしたりして、元気に遊んでいます。

日よけシートの下には鉄棒や一輪車、ミニ一輪車（座らずに立って足でペダルを踏む遊具）があり、やりたいことにチャレンジしています。

鉄棒でぐるぐる回る友達をじっと見ていた子が、数日後に見に行くと前回りができるようになっていたり、逆上がりができるようになっていたりして、子供たちの「やりたい」という思いの強さや、失敗してもあきらめずに自分のやり方で頑張る力を感じます。「やりたい時が伸びる時」ですね。大人が教えなくても、自分で考えて試しているうちに力の入れ方や体の動かし方を見つけています。見守ってくれる先生や友達の励ましも力になっているようです。自分で体をコントロールし、できるようになっていく感覚や自信は、何物にも代えがたい体験と思います。



年少さんの身体測定、お手伝いしたいな

今年度、年長児が年少児の身体測定の着替えの手伝いをする体験を復活させてみました。年長組は西片公園まで散歩に行った後でしたが、先生が声をかけると数人が手を上げ、ワクワクしながら年少組に行きました。

お世話をしたいけれど、年少児が自分でやりたいところもあるので、年長児はよく見て、関わろうとしていました。お兄さんやお姉さんが優しく関わってくれて嬉しかったり、年少組が喜んでくれて嬉しかったり、心を通わせるひとときとなりました。



6月1日（土）には、午前中に同窓会大人の部（中学生以上）、午後同窓会子供の部（小学生）があります。懐かしい先生や友達との再会の場です。近隣の皆様にはお騒がせいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。